

三井デザインテックが業界初、家具のサーキュラーデザインを実現する 新サービス「CIRCULAR FURNITURE」を 2026 年 4 月から提供 ～建築物 LCA 制度導入を見据え、設計からトレーサビリティまで「家具の循環」を包括支援～

<本リリースのポイント>

- 家具の設計から再資源化までを一貫して支援する、業界初のサービス「CIRCULAR FURNITURE」を2026年4月より提供開始
- 業界の垣根を超えた複数の専門パートナーとの連携により、家具のライフサイクル全体でサーキュラーデザインを実現する仕組みを構築
- 2028 年度に導入が検討されている建築物 LCA 制度に先駆け、三井不動産グループの環境ビジョン「&EARTH for Nature」を具現化するモデルとして展開

三井デザインテック株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：村元祐介）は、設計から使用後の循環まで家具のライフサイクルに応じた資源循環を支援する業界初の新サービス「CIRCULAR FURNITURE」の提供を 2026 年 4 月から開始します。設計・製造、CFP^{※1} 算出・DPP^{※2} 実装・トレーサビリティ^{※3} から再資源化までを包括支援するのは業界初の試みで、オフィスや宿泊施設等に設置される特注家具が対象です。

昨今、気候変動や生物多様性保全をはじめとする環境負荷削減策の観点から循環型社会の形成に向けた取り組みに関心が高まっています。国土交通省も、2028 年度から新築建築物に対し、建築物のライフサイクル全体を通じて発生する CO₂ など環境負荷を定量的に把握・評価を義務付ける「建築物 LCA^{※4} 制度」の導入を検討しています。

本サービスでは制度化に先駆け、三井不動産グループが 2025 年 4 月に策定した街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」の重点テーマ“自然資源を循環させる”を体現する一つの事業モデルとして特注家具を対象にライフサイクルカーボンの削減に取り組みます。

三井デザインテックは今後も、「デザイン」を通じて空間と素材の新たな循環を創出し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



「CIRCULAR FURNITURE」とは

※1 CFP（Carbon Footprint of Products）：製品のライフサイクル全体において排出される温室効果ガスの総量を、CO₂換算（CO₂-eq）で数値化したもの

※2 DPP（Digital Product Passport）：製品に関する様々な情報（環境負荷、素材、再利用・リサイクルの方法など）をデジタル形式で一元的に管理・共有する仕組み

※3 トレーサビリティ：製品の原材料の調達から製造、流通、消費に至るまでのすべての過程を追跡可能な状態にすること

※4 LCA：ライフサイクルアセスメント（Life Cycle Assessment）の略で、製品やサービスの原料調達から製造、輸送、使用、廃棄に至るまで、すべての段階で環境に与える影響を評価する手法

「CIRCULAR FURNITURE」 サービス概要

本サービスは、家具の設計から再資源化に至るまでの一連のプロセスを、複数の専門パートナーと連携して包括的に提供するサービスです。これまでも各工程で循環を支援するサービスやソリューションは存在しましたが、相互の業界における知見の差があり、ライフサイクル全体を統合するような連携は困難でした。

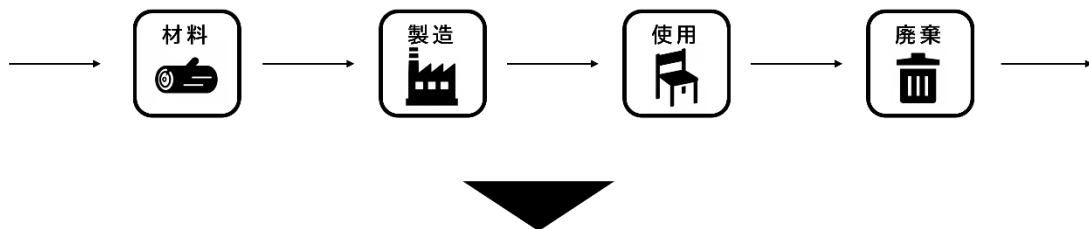
本サービスでは、家具を再利用や分解がしやすい形で設計し、素材選定から再資源化までの工程を連携して進めることで、循環型のライフサイクルを実現します。これにより、従来の「製造・使用・廃棄」による線形型のプロセスから、製造・使用後に回収・再資源化へとつなげる循環型ライフサイクルへと転換します。

具体的には、循環しやすい家具の設計・製造を三井デザインテックが担い、その家具の CFP も、当社が株式会社ゼロックに委託開発を行ったサービスにより算出します。CFP をはじめ各部材の情報や回収先、メンテナンス方法といった製品情報は、DPP として株式会社 digglue の「CiReta!」に統合され、顧客がデジタル上でいつでも閲覧可能です。そして使い終えた家具の回収から資源のマッチングを、資源循環プラットフォームサービス「StateEco」と株式会社ナカダイの協力で実現。部材としてそのまま再利用するのが難しい場合も、株式会社ナカダイが再資源化を行い、家具の循環の輪を形成します。

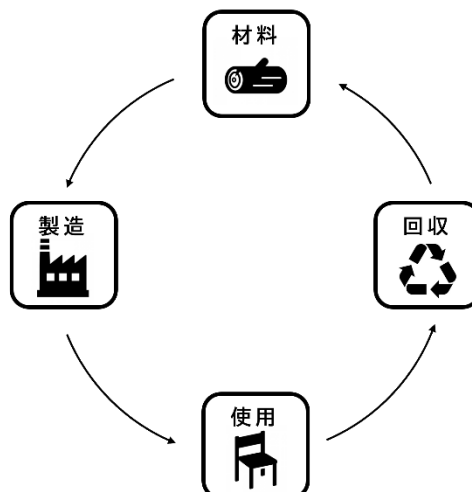
※3 専門パートナーにあたる各社、プラットフォームの詳細は以下をご覧ください。

- ・株式会社ゼロック：<https://zeroc.co.jp/>
- ・株式会社 digglue：<https://digglue.com/>
- ・資源循環デジタルプラットフォームサービス StateEco：<https://www.stateeco.com/>
- ・株式会社ナカダイ：<https://www.nakadai.co.jp/>

<従来の家具づくり>



<CIRCULAR FURNITURE>



これまで一方通行だった家具づくりを、環状にすることで家具の循環を実現

家具のライフサイクル上における「CIRCULAR FURNITURE」の役割

(1) サーキュラーデザイン設計

三井デザインテックでは、脱炭素や循環のしやすさを追求した独自の設計ノウハウを「サーキュラーデザイン設計」として体系化しており、環境負荷を抑える家具づくりが可能です。



サーキュラーデザイン設計による家具

(2) 環境負荷の見える化（CFP 算出）

サーキュラーデザイン設計によって製造される家具を、ISO に準拠した算出方法に基づき、対象製品と従来品のそれぞれの CFP 算出を行い、比較が可能。一般的な家具製品と比較した CFP を可視化します。

従来設計とサーキュラーデザインのCFP比較により環境負荷を可視化します！



ISOに準拠した算出方法

算出根拠を開示

製品のLC全体を評価

特注家具1アイテムごとに従来設計とサーキュラー設計のCFPを算出し、差分を削減率で提示

算出方法も明示した上で、一般的な家具と比較して CFP を提示

(3) プロダクトパスポート化 (DPP 実装)

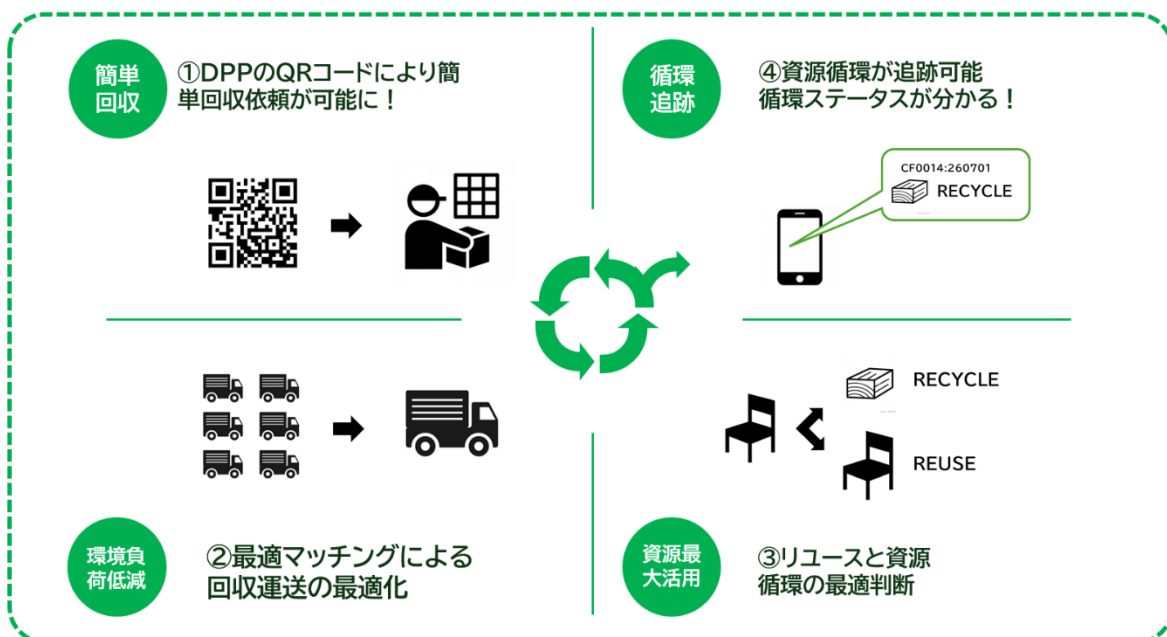
部材情報・CFP 情報・メンテナンス方法・回収先情報などあらゆる製品情報を DPP としてデジタルで一元管理。家具に付与された QR コードから顧客はいつでも製品情報を確認できます。



あらゆる製品情報を DPP としてデジタルで一元管理

(4) トレーサビリティ

DPP の QR コードを使用し、家具の回収依頼を容易に実現。各部材のリユース・リサイクル判断や、その部材を引き受ける企業とのマッチングを行い、回収された後にどのように家具が循環されていくか、現在のステータスを追跡します。



QR コードで回収依頼を可能にし、その後の資源循環も追跡

(5) そのまま再活用できない部材の資源化

回収された家具のうち、再利用が難しい部材は分別・加工を経て新たな素材として再生され、次の製品づくりに活用されます。これにより、廃棄を最小限に抑え、家具の循環を完結させます。

株式会社ナカダイ

資源化

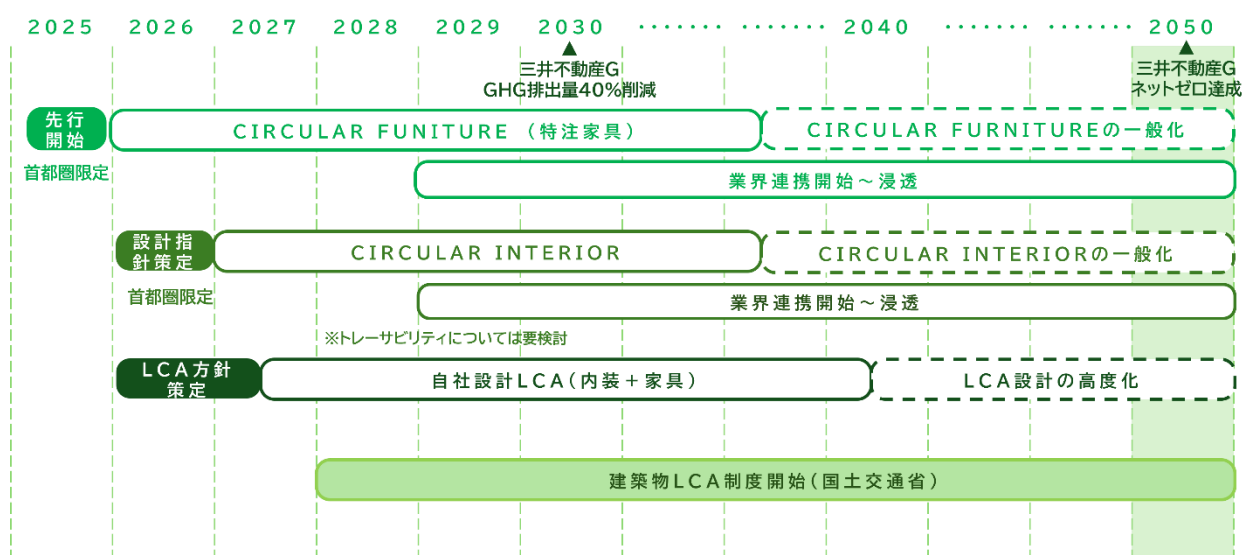
解体してそのまま使えない
部材も、資源にして再利用



そのまま再利用できない部材も資源化することで、再利用して資源を循環

今後の展開

本サービスは 2026 年 4 月より本格的に提供を開始します。将来的には家具のみならず内装空間全体のサーキュラリティを実現する「CIRCULAR INTERIOR」への展開を目指しており、2028 年の施行を予定している建築物 LCA 制度に対応した内装分野における資源循環の仕組みを実装してまいります。



◆三井デザインテック株式会社とは

三井デザインテックは、オフィス・ホテル・商業施設・医療施設等の内装企画・デザイン・設計・施工等のスペースデザイン事業と、マンションや戸建住宅のリフォーム・インテリアコーディネート・商品販売、マンション共用部改修まで、住まいに関わる多彩なライフスタイル事業を展開。多様化・ボーダレス化する暮らしや働き方のニーズに対し、住宅・オフィス・ホテルなどさまざまな領域をクロスオーバーした空間づくりで培った「デザイン力」を基軸に、お客様に「心地よい、満足できる空間」を提供しております。最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.mitsui-designtec.co.jp/>

◆三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



自然資源を循環させる

*この資料は次の記者クラブにお届けしております。
○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会
○環境省記者クラブ ○環境記者会 ○経済産業記者会

<報道に関するお問い合わせ先>

三井デザインテック株式会社 広報担当：西谷・小野澤
E-mail : press@mitsui-designtec.co.jp TEL : 03-5931-4649